昭和二十五年（1950） 定價一ヶ月五十圓 一部賣二圓
磐城毎日新聞
六月十八日（日曜日） 第24号 （日刊）

磐城毎日
發行所 福島縣平市南町六六（平局區內）
株式會社 磐城毎日新聞社
編集發行印刷人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

御愛讀下さい

毎年のまれる濱三郡
海岸工事期成會生れる

福島縣海岸浸蝕防止促進期成同盟會第一回總會は十六日原町で平、植田、富岡、原町各土木監督所長、各市町村長約二百名が参加して行われ、會則其の他を協議同會幹部を選び今後護岸工事促進運動を可及的に行ふことを決議すると共に、政府、縣當局にそれぞれ全額國庫負擔による防備工事促進方を陳情することにした陳情要旨 濱三郡下の海岸線は延長四十里に亘り其の大部分が軟質な砂岩に依つて成つてゐるため波浪に依る流出甚だしく又直接堤防に激突、護岸の災害はその後を絶えず耕作物の被害のみでも毎年一億円を超え、耕地の浸水面積は六千町歩、人家の移轉流出も年々十戸以上に及び此の儘では毎年數億円の被害を受けるばかりでなく、國土も漸次減少すると言ふ狀態なので全額國庫費の單獨豫算を立てゝ海岸の徹底的なぼう備工事を行はれる様陳情する

なほ會長には中村町長三田四郎氏、副會長には富岡豊間の兩町長が選ばれた

農林大臣賞授與
林業功勞者表彰式行ふ

平營林署では二十四年度管內林業從業員の表彰式を十七日午前十時より市公會堂日本間に於て前橋營林局長大島卓司氏始め地方事務所長、平市長、平警察署長、原町、浪江、富岡、木戸、植田營林署長、他林業關係者多數出席、盛大に擧行した、受彰者は次の二十五名△特別功績賞（農林大臣賞）小貫忠次郎（上小川村）△功績賞（局長賞）今泉千代見、清野一郎、神勇吉、中野新阿部耕作、薗川西藏、長鹽友孝、小貫カツ、吉田六三郎、藁谷清、根本直作、松浦行充△功業賞 西山忠一柳內利男、渡邊光草野誠、根本一、荻野滿、鈴木恒吉草野政春、大內兼吉、大內壯三、草野勝、鈴木睦、本年度農林大臣賞受賞者上小川村小貫忠次郎さんは三十年勤續者で親子孫三代にわたつて山林事業に協力し、其の成勤振りが認められたもの

公團廢止に備え
打合せ會開く

農家の經濟も活氣がなくなつたが配給肥料指定業者の資金が動かぬため最近の荷渡し狀況が遅れがちになつてゐる、それに八月からは肥料配給公團が廢止となり自由販賣になるので配給末端業務の取扱ひ方法もいろいろ技術を必要となつたので二十日午前十時から種々協議會を開くことになつた

農業團体移轉
新築農業會館へ

郡農業協同組合では農業會館の竣工したので一昨十六日縣購連の移轉、次いで十七日には養蠶連を除く連合會の移轉を完了した、翌十九日午後から木の香新しい新事務所で執務することになつた

社說
欽損驛格下げに就て

國鐵では經營の合理化から人員の整理とそれに伴ふダイヤの改正を考慮されてゐると報じられてゐる、貨客運賃等の漸減からそれらを補うために全面的な機構を改革する方針であり、同時に獨立採算点に達しない旅客驛を格下げになるのであらうと早くも流布されてゐるその候補にあがるのが久ノ濱町大字末續驛で、朝夕の通學生を運ぶ列車上下各一本を停車せしめ他は通過驛、即ち信號所への格下げとすると云うのである、末續驛はもともと戰時中列車の輻輳に信號所の必要を認めたもので、其の後村民が一般旅客扱ひ驛へ請願を以つて昇格したのだつた、多年の要望を容れられ感喜した村民は資材と勞力を提供して現在の驛を新設したものである、其の後も構內の美化、綠化に部落費と勞力は隨時惜むところなく注がれてゐる、其の努力を認めた仙台管理部でも今度村民を表彰してゐる鐵道に協力して感謝された斷うした事例は珍らしい、こんなに協力しても獨立採算の面に於ては日收三千円を突破することが出來ないので驛の格下げ問題が何時も村民の不安となつて襲つてゐる

鐵道當局が採算の合理化を期する爲めに機構を改革し運營方針を換えるならば貨物輸送上、東北本線の索引のない勾配線貨物輸送を常磐線に切り替えることが石炭消費量の点から先決問題である、そして平坦線岩沼平間に列車の本數を増加し輸送能力をあげるならば二三の赤字驛を犧牲にし地元民の足を奪う必要はない譯である亦常磐線がそれだけ本數を増加されるならば仮令えきも運轉の圓滑を期する爲めには交換その他遅延緩和の爲めにも格下げ廢止どころでなく現存せしめるべきであると同時に鐵道輸送の合理化を將來に置くならば仙台、平間を復線にまで實現せしめることであり地方民も之れが速進には運動を起すべきで地理的關係上常磐線の運命は縮少や人員の減少ではなく現業員を増員し運轉の經營を擴張するべきものである

創作
啓子の結婚（2）
芳太郎

啓子はムラ々といかりが襲つて來た、もうなんどか婚婚ばなしがあつても斷はりつゞけて來た

それがなんのためか母もよく知つてゐる筈だ、それに吉田さんがよく家に遊びに來た頃はあれ程喜々として吾が事の様に御もてなしをしてゐた母なのにもうまるで昨日の夢の様に忘れてゐるのが腹立たしかつた

「お母さん、私嫌ヨー」

「嫌だの！、きらいだのなんてなにをいつてんの、いゝ年をしてサー」

「それにお母さんはきつとお前が嫁いでくれると思つていゝ返事をむこう様にしておいたんですヨー」

彼女はいかりをバクハツさせて叫んだ

「馬鹿！馬鹿！お母さんの馬鹿！」

母はドギモを抜かれた様に啓子の叫びをきいていたが

「そんなにおこらなくともいゝぢやないのー」

「いゝワ！いゝワーよ、私が今迄こうして斷つてきたことお母さんは判り過る程判つてゐるぢやないの、お母さんも思つていたし、私も思つてゐる、吉田さんが有るつてゆうことを—」

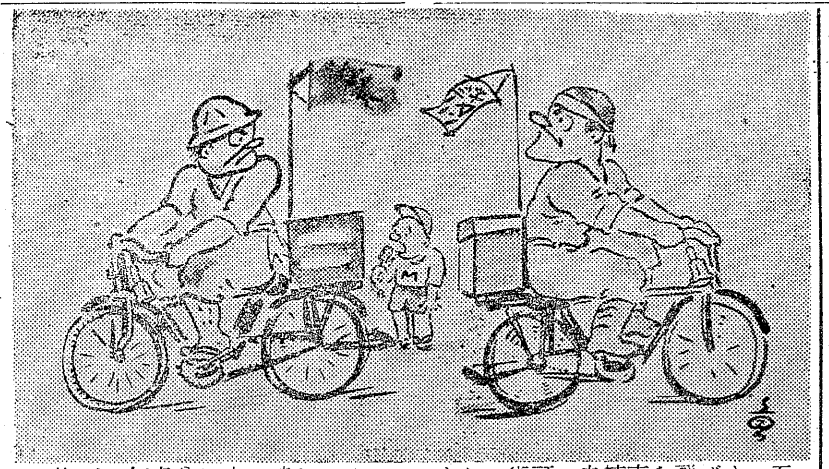
「まだ—吉田さんの話を持ちだした—」彼女もなか々のことばまけてはゐなかつたが、はゝとても娘のゆう様にばかりならなかつた、はゝは續けてとゞめをさす様に

「啓子さんは吉田さん、吉田さんとゆうけれどもう終戰四年にもなるのヨ！、それなのに生ているのか死んでいるのか、便り一本來ない人を待つているなんてあんたこそ大馬鹿ヨー、吉田さんと共に應召した人々は皆な早く歸つて來たし、そして結婚してゐるぢやないの、そんな當にならない人を義理だてして待つている必要なんかないですヨー」

啓子は母がなんと云はうと吉田を信じたかつた、あの人が私に殘していつた最愛のことば 息づまる様なキンチヤウとキヨウフの驛頭であの人は力強くハツキリと云つた

「啓子さん信して下さい、最後の瞬間まで信じて下さい」と

噫々、今でもハツキリと私の耳ぶたが熱くなる程私の耳にいなこの体に暗夜の燈台の灯の如く響いてくるなんでそれを裏切ることが出來るでしょうか、私達女性の道德から云つても、それに引換へ敏彥とゆう存在は餘りにもかけはなれた人物だつた、父の光で事務所の會計課には治まつてはゐるが、大變な好色家とウワサが高い男ではないか、髪の毛をトンボの羽根の様にツルツルとひからせてキザなかつ好して歩るいてゐる態なんて見られないわ、それに先般守山炭礦全從業員が賃金値上、生活待遇促進のストをした、それは正しく勞務者にとつて當然であり、死活問題であつた、私達女子從業員でさえ募金して應援斗爭をやろうと決議した、あのストに、分裂のクサビをうちこんだのは誰れだろう、それこそ敏彥その人ではないか勞務者の生活苦につけこんで一方面に畵策して斗爭を放きさせてしまつた卑劣な男、あんな男にだれがお嫁にゆくもんか （つゞく）



〃梅雨よ何處？ 空は晴れて〃しけを喰つた露天商人もどつと繁華街に店を擴げれば市內三十軒のキャンデー屋賣子八十人が鐘を鳴らして街頭に自轉車を飛ばす＝五分置き位に彼等は交叉する 決して衝突しない＝然しアイスの様に心と心は冷たいものはなからうか

コックの王様
本日市公會堂に

十八日九時半より平市公會堂に於いて教育委石城出張所、福島民友支社主催、演劇教室が行はれる、演技者は學生演劇の權威者八田元夫の東京少年演劇團で「コックの王様」「ぶす」の二つを行ふ、會費は十円

空車轉覆事件
復舊作業終る

昨報平えき構內で顚覆椿事の後片附けは十六日十二時迄に完了し午前一時半から開通の運びとなつたが粉々に飛散した信號連導パイプは來る二十日迄要する見込で復舊まで手返しのポイントで代用する、同日午後五時半頃好井管理部長、運轉課長等一行が現場調査に來平損害原因其他の調査を行つたが、損害は約百五十万円に上る見込で客車一台廢しや、客しや二、貨しや一台が夫々修理の上使用は可能でレール五本は使用不可能となつた、原因は信號手が轉徹機を返す事を失念したのでこの椿事を起したもので三名とも行政處分を受け減俸となる模樣である

寶くじ三〇〇萬圓
復興資金八月發行決る

戰災地復興資金として平市が豫てより出願中であつた寶くじ發行については今回上京中だつた市山野邊庶務、闘場商工兩課長が大藏省に出頭、種々實狀を具申、折衝を重ねた結果本省の內定を得たので近く正式認可となつた八月初旬には總額三百万圓の半額を發行することになつた、賣出しは開封式で郡內各町村の協力のもとに賣出すことになつてゐる

市外田植始め

平市外農村の田植始めは神谷方部節句前の十九日、飯野方面廿一日頃、平窪方面廿五日頃からと見て居り何れも準備に取かゝつてゐる

人生旅記（14）
磐城印協理事長
渡邊治平さん

磐城印刷工業協同組合の理事長に再選された渡邊治平さんは四倉町居住で四倉活版所の主人公である、三十年間も納税の完納者として關係役所から表彰されたのもつい二、三ヶ月前の事である

十年前のあなたは

此の法的の組合を造るにはなみ々ならぬ奮闘をつゞけて今日の和合一致の組合とした過程には涙ぐましい位の努力もひそんでゐる、縣下一統の組合を離れて石城の一角に同業親善たる堂々たる組合にするまでには現在の役員たる山野邊重太郎、藤田專吾會川孝太郎、市議で役員である永野孝夫の諸氏が福島通えを隨分しての結果で、然も現在では縣一圓の組合は解散の悲運を招えたのに引換、磐城印協が團結を益々發揮しての役員諸氏が熱心に運營に當つている、其の理事長の渡邊氏が業界に重きをなしてゐるのも當然と云ふべきである

今後のあなたは

酒は飲むが情實には流れず、公平の組合理念に業者一同からは敬意を表されてゐるのも決して組合を私しての行動など藥にする程の少しのサジ加減もないからであるそしてよく働く理事長である

ビスケット
幼兒童自由販賣

政府では現在保管の古い小麥粉を原料とした幼兒食の（B）ビスケットを今度自由配給する事になり農家や官廳工場、一般家庭よりの申込みを待つてゐる

パンと洋菓子
ベーカリー 東京堂
平市才槌小路
電話1108番

人事ニュース

△前橋營林局長大島卓司氏平營林署從業員表彰式出席の爲去十六日來平、十八日退平

△平市役所闘場商工課長、山野邊庶務課長、平市議競輪委員石山、大塚の諸氏上京中の處歸市

皆様へ贈る
特選五月人形
元價大特賣
景品付
大賣出し
平市銀座通り
あるが家具店
電二二三番

食油販賣

胡麻油	一合	七十圓
サラダ油	一合	六十圓
米ノ油	一合	三十五圓

一升罐入、五合罐入、二合壜詰もあります
御利用下さい
平市一丁目二
シラドヤ 平製油株式會社

東京 五月人形
本日より最後の赤札付
大特價大賣り出し
早い者勝ち!!
製造元・本間商店直賣
特約店 上原玩具店
平驛前通り

母コマ儀病氣療養中の處六月十五日午前八時九十三才を以つて永眠致しました 生前の御交誼を深謝し紙上を以つて御通知申上げます

追而葬送の儀は二十日午後一時より二時まで自宅に於て告別式を相營み好間村大舘光景寺に埋葬致します

昭和二十五年六月十六日 平市一丁目

施主 大塚太郎
親戚 鈴木駒三郎
猪狩德四郎
友人總代 小松茂
石山一治

競輪場の認可内諾を得て
委員會いよいよ準備

競輪場設置運動の爲め平市關場商工課長、山野邊庶務課長渡部技師は大塚、石山市議と共に去る十二日上京關係省に出願、許可の折衝を重ね十六日歸廳した

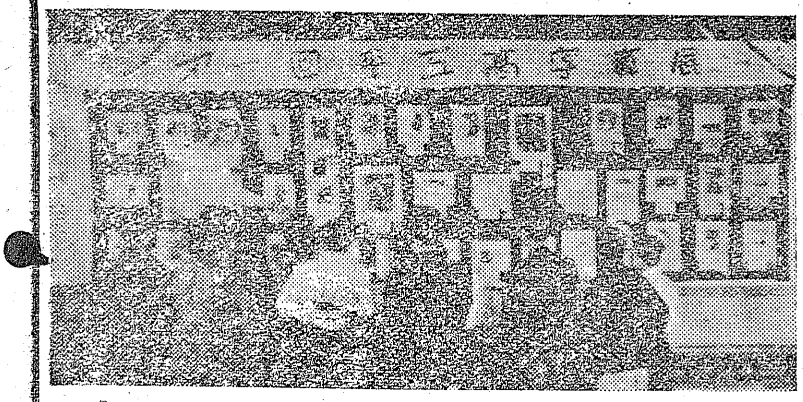
競輪場設置については縣内から出願してゐるものあり競願のかたちとなつてゐるが氣候、地理的好條件に惠れた平市が新設許可の内諾を得たもので近く正式許可されることになつた、これに就て十七日關係委員會を開き今までの經過報告をなすと共に建設施行に就て技術運營上の協議をなした、又許可内諾を得て歸廳した關場商工課長の談に依ると縣内から平市の他に福島、郡山の二市からも出願されて居り同市は會澤競輪場と接近してゐる点、亦氣候等からも年間を通じて開催される平市の方が許可の好條件となつたもので、競輪場開催に付ては平市年間六回を原則として開催することが出來るし、他に主催名儀を貸付し得るので實際はそれ以上に開かれるものである

出稼ぎ父慕つて
四人姉弟家出、水戸驛に保護

石城郡川前村大字川前森村さん長女アヤ子（一五）二女レイ子（一三）三女フケミ（八）長男正明（六）の姉弟四人そろつて十六日午後六時四十分平發上り列車に乘つて父を慕つて家出した狼狙した母親からの届出でに水戸えきで保護された旨通知があつた、この姉弟集團家出は父が靜岡縣に職を求めて働てゐるが住宅も思う通り見付らず、家族を呼び寄せることもならすにゐた父慕う女乙心にまだ見ぬ靜岡の父に心をはせらしたものである

平工高寫眞部第一回作品入賞者

十六日より平工商に於て開催した校友會第一回寫眞展覽會は優秀品多數あり、大變盛會を極めた平市寫友會の審査會を開き結果、左の通り入賞者決定した



神父と生徒	草野周吉
麥と女性	加藤京伸
神父	小野秀雄
初夏	織田陽司
ポートレート	佐藤俊郎
初夏	里見昭雄
憩	江尻信義

以上七点　外入選佳作數点

新人選手の出現
ソフトボール

高校体連主催のソフトボール學年對こう戰は平商球場で行なつた、試合開始九時試合數は午後二時半現在

△一年　優勝磐女高校
小名濱高1―12平商高、磐女21―1平商、小名濱高2―17磐女

△二年　優勝磐女高校
磐女11―3四倉高、小名濱高6―7平商、磐女14―13平商

△三年　優勝校未決定
磐高12―10四校、小名濱高13―12植高、平商27―7内高、磐高―平商

同陸上競技は磐女グランドに於いて行はれたが戰績は次の通り（三位以下略）

△男子高校の部
一年　平工（35）　磐女（33）　小名濱（23）高
二年　平商（27）　平工（24）　磐高（20）
三年　平工（43）　小名濱工（27）　磐高（27）

△女子高校の部
一年　磐女（21）　磐農（13）　小名濱高（12）
二、三年　磐女（16）　磐農（19）　小名濱高（11）

カッコ内は總得點

レコードコンサード　明十九日午後七時半より日本キリスト教會に於てアポロ會主催のレコードコンサートを開く、ピアノ協奏曲第五番「皇帝」その他七曲で、特に今回から觀賞講座をもうける事になつた

豫防接種法に就て
何故注射をせねばならぬか

それでは適當な時期とはと云ひますと次の樣なことになります、どの病氣の發生にも時期がありまして、すなはち季節的影響を受けて流行期が年々ほゞ同じ時に同じ病氣の流行をみることは古くから知られて居ります、私達はこの各種傳染病の流行期を知ることが大切です、大部分の豫防注射は注射後一定の時間をおかねば效果が現れて來ません、それなのに注射後直に效果が現はれると考へる處に前述した樣なごびゆうや不平が來るのです、つまり予防注射藥は個人の体質によつて可成り違ひますがちう射後大体一ケ月から感染防御体制が出來て六ケ月を超へると衰へて行きます、從つて若し最も能率的な予防注射を施行するとしたならば流行期の一ケ月位前に予防注射を完了する樣に施行することが望ましいのです、流行期に入つては到底間に合はぬことはこのことによつても分る事と思ひます、從つて兄弟の一人とか學校のきう友の一人とか、或は又友達の一人とかが發病してからあわてて予防注射を受けても感染するのが普通であつて、感染しない方が極めてまれな運のよいことになるのです、この樣な発えきの出來る期間は個人の体質の差によつて可成り違う事です、例へば甲の人が注射後四週間で発えきこう体が出來るのに乙の人では六週間を要するという樣なことをしばしば經驗いたします、從つて予防注射の時期をきめることは仲々簡單ではありません、然し少い人について完全な豫防注射を實施しても大多數の人々が予防注射を受けないという樣な場合の方より不完全ながら全部の人が一應予防注射を受けるという場合の方がより多く公衆衛生學的效果をあげることになります、從つて厚生省では今度豫防接種法に基いて一應國民全部に豫防注射を施行することになりました、私達は前にものべました樣な點を十分理解して進んで正しく豫防注射を受ける樣にいたしましよう（終り）

筆者は平市小谷衛生課長

まださめ切らぬ
朝の六時前
平驛頭雜觀

十七日社會探訪第一陣を平驛頭にペンを走らせる、人口五万に近い大平市を建設する玄關口も日に數万の昇降客があるとも思はれぬ朝の六時前は靜けさの姿である、驛前の廣場を清淨されてゐることは夜半の手入れかと思えば驛長の注意の程も窺はれて先づ市民に親まれる驛長さんは日立から榮轉して好評判

考案を要する廣告塔の存在

驛前の一角にある廣告塔は大衆えの標識として其の折々の宣傳には利用百%ではあらうが、過ぎ去つた參院選擧や終つたポスターの書き古びた後の祭りの其の儘の姿は變なかんじである、これはやり放しの放任主義を物語るもので是等は直ちに次ぎいの標識を新らしくすべく大いに考ふべきことであらう又それによつてゐき前廣場も明るくなるし宣傳價値は高まると云うもので其責任に於て一層の利用價値も出よう

南に見通す三十米道路

巡査派出所も一方に移し新設三十米道路を南に眺めれば今を盛りに移轉工事が施されてゐる、此の分で行けば本年中に立派な道路が貫現されるであらうし何となしに市の延び行く雄大さに我が平市發展せりと快哉を叫ばざるを得ない

早起きの商人

町の一般は朝寢である六時半から七時頃に漸く戸を開けるのに驛前の「佐原屋」は五時前には必ず起きて一番列車に乘るお客えのサービスなど繁華街の協力はどの店も斷くありたいものである昔から朝起きは三文の徳と記者は特に「佐原屋」を紙上で勉強振を表彰する

驚くべき賣高と賣れぬをかこつ立賣連中

構内の立賣りはキャンデーと數えて十六人であるが夜中の列車にも朝の一番にも出なければならないのがお掟で此の連中平均一日の賣上げが二千円、此の分では、やりきれぬとこぼす反面、驛入口の賣店も二千円位なのに驛内の店は驚くなかれ二万円を突破する繁昌振りとは一寸信じられない程である、それに廣場の路傍で一枚の戸板を店として新聞雜誌を賣る露天商が朝のお客を第一主義に商賣してザツト七八百円から一千円上りと云ふ

其の他の數々

八時前は運轉を初めぬ貨物構内の自動しやの八台は晝の疲れをそのまゝの姿であるし、ゐきの公安室には宿直の係員がサイレン一歩前に寢むたげの顏に戰闘準備の服裝に着替え初める一方切符賣場は一番列しやのお客に計算勘定が忙がしし改札口も一人の當直で常磐線の上り下りと磐越線始發と約毎朝千人以上を相手に鋏を入れるのであるからご苦勞千万である、以上が平ゐき頭朝の一時間である

河童早くも
夏井川に飛込む

久し振りの好天氣にすつかり初夏のおとづれた昨日今日、長雨にくさり切つてゐた河童達、我が世を得たりとばかりおう喜びで、まだ水の引け切らぬ夏井川は河童の遊び場と化して砂遊び角力、水えい等、多數の河童達の遊ぶ夏井川は平神橋にたゝずむパラソルの色あざやかなアペック組と良く調和して早くも夏の到來を告げてゐる

三方部對抗軟式テニス　本十八日行れる予定の高体連主催の三方部對こうなん式テニス大會は昨十七日市營コートにて行つた

△男子高校ブロック磐高3―0双高、郡商3―2双高、磐高3―1郡商、Aブロック田高3―1平商、原高3―0平商、田校3―2原校、Bブロック安高3―0平工、相農3―1平工、相農3―1安高

△女子高校　安女3―0浪女（午後二時現在）男子高校決勝リーグは磐高、田高、相農の間で行ふ、女子高校の殘試合は磐女對浪女、磐女對安女である

マ杯爭奪テニス豫選
平チーム不戰優勝決定

昨十七日磐女コートで行れる豫定であつたマ杯軟式テニス縣豫選は福島、若松郡山チームの棄權により平チームが不戰優勝と決定、來る二十五日秋田市で行れる東北大會に出場する事になつた、出場者は次の通り

△一般男子　小川亮、篠原英任
△一般女子　千葉ハツノ、大門セイ
△男子高校　根本邦彥、愛川和武
△女子高校　大橋せき子、田卷睦子
△壯年組　園部義雄、典津昌

泥棒の上前はね
助手送檢さる

平市大字北白土字宮脇二自動車助手佐藤松雄（一七）假名は去る三月十四日午後十一時半頃内郷町大字小島無職飯田正雄（一七）假名が平市新川町煙草小賣商佐藤昌さん方の店先から搔拂つてきた光十四箇を現場附近で賣却せんとしたところを恐かつしてまき上げたことが判り十六日平市署に捕つた、取調べにより昨年八月頃同大字北白土字中道一〇木村武夫（一七）君に對し金を持つて來なければ暴行を加えるぞと脅かつし現金二千四百円を強奪したことも自白したので十七日送檢

慶弔錄

出生　△二日平市才槌小路山岸清水（四男）恭雄さん△八日平市字番匠町五十嵐政雄（一女）洋子さん△五日平市ゴマ澤馬上照夫（一男）信雄さん

婚姻　△十六日平市字田町鈴木實二（三三）さんと双葉郡浪江町字新町大原昭子（二三）さん

死亡　△八日平市字一町目大塚コマ（九三）さん△十六日平市字北目町八中垣内良人（五二）さん

交通事故　十五日午後九時頃平市常磐交通自動しやうんてん手櫻井正太郎（三三）は市内五丁目製炭業石川榮さんに突入家屋に損害を與えた

株式市況
（磐城證券）
―十七日現在―

殆ど動意なく保合狀態だが概算九十五万株の出來高であつた

東海上	[illegible]	日麥酒	[illegible]
新郵船	[illegible]	朝麥酒	[illegible]
三井船	[illegible]	キリン	[illegible]
日發	[illegible]	寶酒造	[illegible]
三井山	[illegible]	野田醬	[illegible]
日石	[illegible]	豊年油	[illegible]
三井造	[illegible]	高壓	[illegible]
日立	[illegible]	日産化	[illegible]
鋼管	[illegible]	呉羽化	[illegible]
東洋紡	[illegible]	苫小牧	[illegible]
鐘紡	[illegible]	十條紙	[illegible]
日清紡	[illegible]	本州紙	[illegible]
呉羽紡	[illegible]	日セメ	[illegible]
日東紡	[illegible]	磐城セ	[illegible]
片倉	[illegible]	小野田	[illegible]
帝人	[illegible]	不動新	[illegible]
東洋レ	[illegible]	陽和不	[illegible]
新光レ	[illegible]	開東不	[illegible]
山パル	[illegible]	三越	[illegible]
東北パ	[illegible]	日活	[illegible]

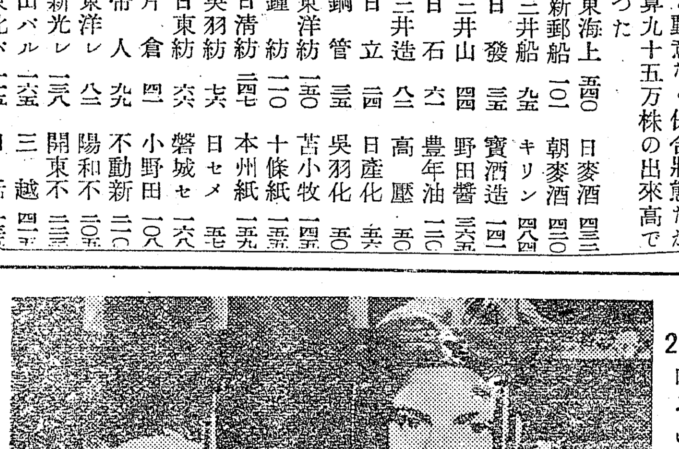
魚菜相場

【鮮魚市況】
―十七日現在―
（單位貫）

かつを	一八〇―一五〇円
きちじ	一三〇―一〇〇円
あじ	一二〇―九〇円
いか	一八〇―一九〇円
すずき	三〇〇―二五〇圓

【青果市況】
―（マルサ市場）―

きやべつ	十八―五円
馬鈴薯	四五―二五円
玉ねぎ	四五―三五円
大根	二四―十二円
えんげん豆	二六〇円
たけのこ	一一〇―七〇圓
きり芋	二〇〇円
京菜（一把）	七―四円
きうり	八〇―七五円
三寸人參ハシリ（千葉）	八〇円
南瓜ハシリ　千葉	一二〇―一八〇円



20日より25日

靴みがき

内郷　第二いわき

最新形
ニユールツク
御注文を承ります
㊢壽百貨店
洋服部
電話六五六番

日本交通公社
平案内所
平市銀座通り
電話一〇二五番

開店お知らせ!!
今月二十五日より七日間
景品付きで賣り出します
雜誌書籍の愛讀者の皆々様の暖い母心
にすがつて育つて行き度いと思ひます
何卒可愛がつて育てゝ下さい
平市驛前
ヤマニ書房